

2025 年度

— 2024.9.11 —

社会学研究科入学試験問題(修士課程)

科目「英語」(社会学専攻)

【解答における注意事項】

1. 次ページ以降に問題Ⅰと問題Ⅱがあります。その両方に解答しなさい。問題Ⅰと問題Ⅱの解答は、問題ごとに別々の解答用紙に書きなさい。
2. それぞれの解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を書きなさい。

科目「英語」(辞書使用可)

問題 I (社会学専攻)

以下の英文を読み、次の問いに答えなさい。

- (1) 下線部を前後の文脈を考慮して日本語に訳しなさい。
- (2) 文章全体の内容を 500～600 字程度の日本語に要約しなさい。

科目「英語」(辞書使用可)

問題Ⅱ(社会学専攻)

以下の英文を読み、次の問いに答えなさい。

- (1) 下線部を前後の文脈を考慮して日本語に訳しなさい。
- (2) 文章全体の内容を 500～600 字程度の日本語に要約しなさい。

出典：Richard H. Robbins, Rachel A. Dowty Beech, *Cultural Anthropology: A Problem-Based Approach* (8th Edition).
Sage Publications. 2020. より抜粋

(出典: D. P. Schultz & S. E. Schultz (2016). *A History of Modern Psychology: Eleventh Edition*. pp. 364-367.
(eBook edition) 出題の内容に関わる部分について一部修正してある。)

科目「英語」(辞書使用可)

(教育学専攻)

下記の点に留意して、以下の英文を日本語に要約しなさい。

- (1) 読みやすく正確な日本語で書くこと、
- (2) 各段落に記されている内容の要旨をそれぞれの確に記すこと、
- (3) 文章の構成や字数を適切なものにする。

出典 : Biesta, G.J.J. (2012). Giving Teaching Back to Education: Responding to the Disappearance of the Teacher. *Phenomenology & Practice*, 6(2), 35-49.